【様式１】（事業者等→（公財）岡山県産業振興財団）

　令和　　年　　月　　日

公益財団法人岡山県産業振興財団　理事長　殿

　　　　　　　　　　　　（事業者等名）

（代表者役職・氏名）

令和４年度 専門家派遣による備前地域産品知名度向上応援事業

申込書 兼 事業計画書

令和４年度「専門家派遣による備前地域産品知名度向上応援事業」に応募したいので、関係書類を添えて申し込みます。

１．応募の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業者等名 |  |
| 所在地 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| E-mail |  @ |
| 担当者 |  役職　　　　　　　　　　　　氏名 |
| 業種 | （１つに○）①製造・建設・運輸等　②卸売業　③小売業　④サービス業　⑤その他（具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 管内地域で生産・収穫・採取される主原料 | (具体的に記入のこと)産品名：産地名：商品名： |
| 主な事業内容取扱品目 | (具体的に記入のこと） |
| 設立年月日 |  　年　　月　　日  |  従業員数 |  人 |
| 資本金 |  千円 | 売上高（直近期） | 　　　　　　　　　千円 |
| 募集要項について | （満たしている場合は☑にチェックしてください）□　募集要項に記載された応募資格について、要件をすべて満たしている。（※岡山県税の滞納など応募資格を満たしていない場合は対象となりません。） |
| 同意事項について | （同意する場合は☑にチェックしてください）□　当事業におけるＨＰ等における成果の公表と令和４年度末及びそれ以降に実施する成果測定アンケートへの回答に、予め同意する。（※同意しない場合は対象となりません。） |

２．応募コース

|  |
| --- |
| 　希望コースに☑にチェックしてください　□　商品開発・商品ブラッシュアップコース　□　マーケティング・ブランディングコース　□　ＥＣ・ＳＮＳ活用コース |

３．支援を求める理由・内容と管内の地域資源活用等の取組について

　**（※具体的に記入してください。）**

|  |
| --- |
| （１）管内で生産・収穫・採取される地域資源等の活用状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（２）経営理念、ビジョン等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（３）SWOT分析（強み・弱み・機会・脅威）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　強み・・・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　弱み・・・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　機会・・・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　脅威・・・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（４）現在の課題　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（５）専門家支援を求める内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（６）専門家支援による目標・期待される効果　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（７）今後の展開　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

３．誓約

(1)私（法人の場合は、代表者、役員又は実質的に経営を支配する者。以下同じ）は現在又は将来にわた

って、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から５年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団

関係企業、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治運動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他反社会的勢

力（以下「暴力団等反社会的勢力」という。以下同じ）に該当しないことを表明・確約します。

(2)私は現在又は将来にわたって、自ら又は第三者を利用して、①暴力的な要求行為、②法的な責任を超

えた不当な要求行為、③取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為、④風説を流布し、偽

計若しくは威力を用いて貴財団の信用を毀損し、又は貴財団の業務を妨害する行為、⑤その他これらに

類する行為を行っていないことを表明・確約します。

(3)私が上記のいずれかを満たさないと認められることが判明した場合又はこの表明・確約が虚偽の申告

であることが判明した場合は、本支援を中止されても異議を申しません。これにより損害が生じた場合

でも、一切私の責任といたします。

(4)私は、私が暴力団等反社会的勢力でないことを確認するために、貴財団が行う調査に協力するととも

に、必要に応じて本申込書に記載された情報を貴財団が専門機関（岡山県警察・公益財団法人岡山県暴

力追放運動推進センター等）に照会することに同意します。